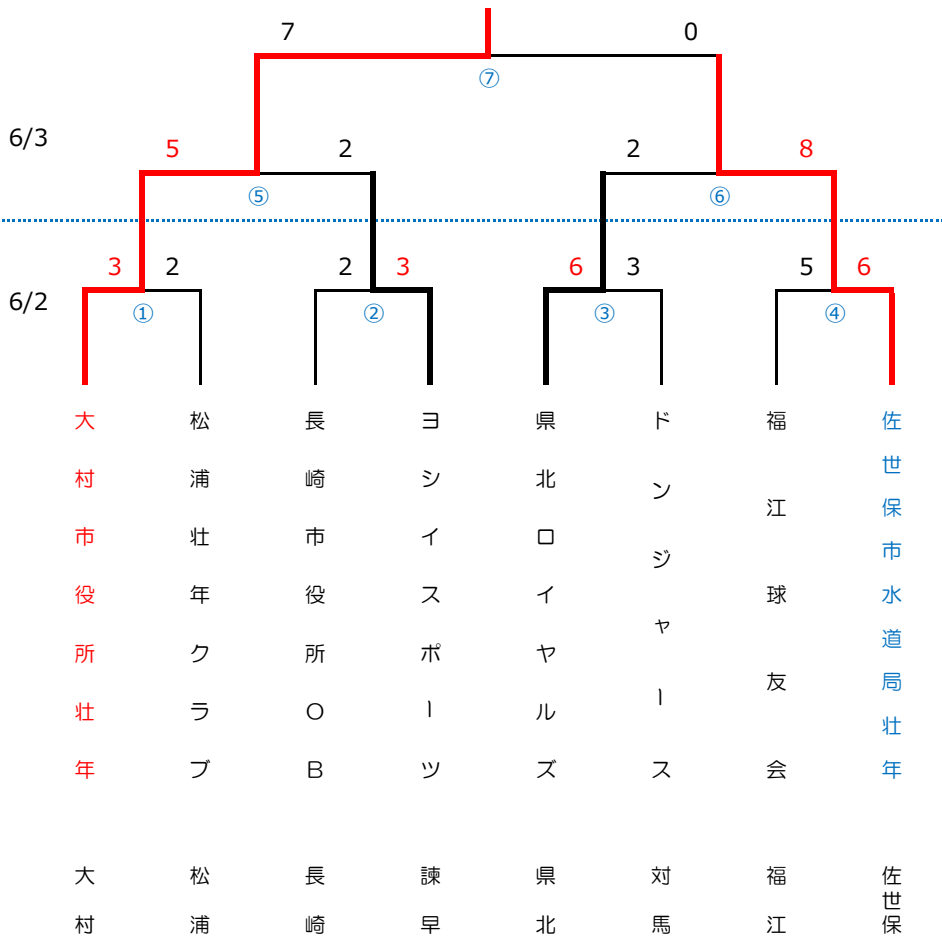


日本スポーツマスターズ2018 軟式野球競技会 長崎県大会

会期：平成30年6月2日(土)～3日(日)

会場：平戸市赤坂野球場



【一回戦】① 六回時間切れ

大村市役所壮年	210 000 時	3
松浦壮年クラブ	002 000 間	2

【一回戦】② 五回時間切れ

ヨシスポーツ	200 01 時	3
長崎市役所OB	101 00 間	2

【一回戦】③

ドンジャース	000 100 2	3
県北ロイヤルズ	040 002 X	6

【一回戦】④ 延長八九回はタイブレーク

佐世保市水道局壮年	010 000 032	6
福江球友会	000 010 031	5

【準決勝】⑤ 六回時間切れ

ヨシスポーツ	001 100 時	2
大村市役所壮年	401 00X 間	5

【準決勝】⑥ 延長八回はタイブレーク

佐世保市水道局壮年	000 002 06	8
県北ロイヤルズ	100 100 00	2

【決勝】

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	打	安	点	振	球	犠	盗	併	失	残
佐世保市水道局壮年	0	0	0	0	0					0	20	3	0	3	3	1	1	0	3	6
大村市役所壮年	5	0	0	1	0	1x				7	25	8	5	1	8	3	3	0	1	12

六回コールドゲーム

【投手-捕手】 佐野-藤村 宮崎-戸嶋 【二】 今村(大)

先頭四球が二盗を決め三犠打三進に失策が絡んで先取点の大村は、死球で好機を広げた一死一二塁に5番今村と鈴木が連続タイムリー打。鳴濱も3連打した満塁に敵失とスクイズ(敵失)などで初回に打者11人で5点を奪った。二回二死後に今村の左越え二塁打や、三回には四球を犠打二進後に上原の左前打で二死二三塁と攻め立てたが、ここは無得点。

四回に先頭3番安田が安打(二盗)の三進後に、今村の試合3安打目となる右タイムリー打で突き放し、六回には先頭今村への死球から得た二死一二塁に9番宮崎がコールド勝利を決定付ける右適時打。

守っては先発の宮崎(46)が3四球を与え3安打されながらも、守備陣が初回先頭の1失策の堅守で応え、六回を83球完封で仕上げた。得点機会を与えたのは初回に失策と犠打の一死二塁。三回は四球と二盗の二死二塁。四回には先頭4番に初安打を許し続く代打に連安打された無死一二塁も後続を討ち取り、三塁を踏ませたのは、この回一度きりの好投を見せた。

近年の長崎県代表チーム戦績

29	長崎市役所OB	九州	1-0 佐賀クラブ
		全国	2-0 出雲シニアクラブ(島根)
			2-3 トウヤクラブ(熊本)
28	福江球友会	九州	1-8 秋吉整形外科クラブ(福岡)
27	長崎市役所OB	九州	1-7 トウヤクラブ(熊本)
26	福江クラブ	九州	3-7 都城クラブ(宮崎)
25	福江クラブ	九州	2-7 都城クラブ(宮崎)
24	轟壮年クラブ	九州	0-3 萬洋クラブ(大分)
23	島原クラブ	九州	長崎県主管で全国大会へ
		全国	1-17 秋田市役所雄OB(秋田)
22	福江クラブ	九州	熊本県で敗退
21	島原クラブ	九州	宮崎県で敗退



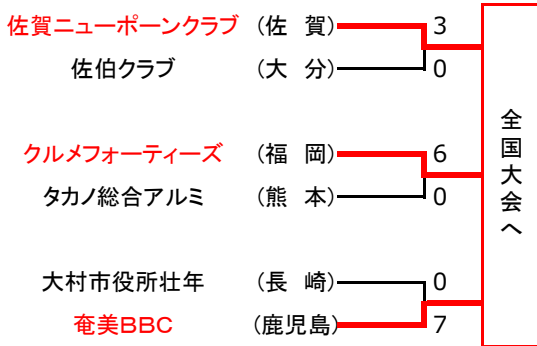
日本スポーツマスターズ 長崎県予選会で初優勝の『大村市役所壮年』

【監督】鈴田 正隆 【主将】松尾 直紀 【投手】安田 智明、浦辺 政幸、宮崎 政義、今村 雅憲
 【捕手】戸嶋 謙二 【内野手】三岳 和裕、下玉利 輝幸、山下 志朗、山崎 稔、松田 鉄三、古賀 誠司、針山 健
 【外野手】松浦 敬祐、鳴濱 剛、浦道 昌快、上原 享、山崎 智弘

日本スポーツマスターズ2018 軟式野球競技 九州ブロック大会	会期：平成30年7月14日(土) 会場：宮崎県日南市 天福野球場
------------------------------------	-------------------------------------

九州ブロック大会の開催県代表と沖縄県代表は
ブロック大会を経ずに全国大会へ出場する

【代表決定戦】	六回コールドゲーム	打	安	点	振	球	犠	盗	併	失	残
大村市役所壮年	0 0 0 0 0 0	0	23	4	0	6	1	0	1	0	3 6
奄美BBC (鹿児島)	1 4 0 0 0 2x	7	24	6	4	2	6	1	3	1	1 7



南国宮崎・日南市天福球場の午後1時過ぎ。気温40℃近くの中での熱戦だった。南国チームの奄美は初回に先頭死球からの一死三塁にランエンドヒット(敵失)で先取点を挙げると、二回は2四球にクリーンアップの3連安打に敵失も絡ませ10人攻撃で4得点。六回にも死球から適時打と二死一三塁に敵失によりコールド決定の7点目。大村市役所壮年は少人数の遠征で野手交替無し9人。攻めては散発の4安打。1失策走者も含めて四度の得点圏走者を還せず、熱投の宮崎に報いることが出来なかった。

日本スポーツマスターズ2018 軟式野球競技会
9月14日(金)～17日(月) 北海道札幌市ほか